

平成23年度研究助成選考結果

(共同研究)

申請代表者		研究課題	研究期間	助成金額(円)
名古屋大学大学院法学研究科教授	千葉 恵美子 他10人	集团的消費者利益の実現のための制度設計のあり方—実体法・手続法の架橋をめざして	24年3月～ 25年6月	1,000,000
東京家庭裁判所家事調停委員	越 智 直 樹 他9人	涉外家事調停(国際離婚と子供を巡る諸問題)の進め方に関する実務的研究	24年1月～ 24年12月	700,000
大阪市立大学大学院法学研究科教授	三 島 聡 他9人	裁判員裁判の評議におけるコミュニケーション・デザインの発展的研究	24年1月～ 26年12月	300,000

(個人研究)

申請者	研究課題	研究期間	助成金額(円)
大阪府立大学経済学部教授	澤 井 啓 消費者仲裁・ADRの研究 —仲裁法附則第3条の見直しを視野に入れて—	23年12月 ～24年11 月	300,000

(共同研究) 継続

申請代表者		研究課題	研究期間	助成金額(円)
慶應義塾大学教授	中 島 弘 雅 他16人	ABL関連法制に関する海外現地調査等に基づく立法提言	2年間(～2 4年7月)	1,000,000
早稲田大学法学学術院教授	松 澤 伸 他14人	裁判官と研究者の協働作業による我が国の現に行われている刑事法理論の研究	3年間(～2 5年6月)	700,000